

東部地区人権教育実践報告会

令和5年7月28日（金）
会場：吉川市中央公民館

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉 実行副委員長
(2) 主催者挨拶 東部教育事務所長
(3) 来賓挨拶 実行委員長
吉川市長
吉川市議会議長
(4) 来賓及び主催者紹介 実行委員
(5) 人権作文発表



- ・「力が入らないおじいちゃん」 松伏町立松伏小学校 第2学年
- ・「ぼくもこせいがある人間だ」 三郷市立立花小学校 第3学年
- ・「言葉の重さ」 春日部市立豊春小学校 第6学年
- ・「自分の好きに素直でいたい」 久喜市立鷲宮東中学校 第1学年
- ・「区別と差別の違い」 吉川市立吉川中学校 第1学年
- ・「世界の見え方」 行田市立西中学校 第3学年

- (6) 閉会の言葉 実行副委員長

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
子供の人権	○心が通い合い、潤いのある人間関係づくりに向けた人権教育の取組
インターネットによる人権侵害	○インターネットによる人権侵害を防ぐために ～杉戸町における集会所事業の中での取組～
同和問題（部落差別）	○同和問題（部落差別）の正しい理解と豊かな人権感覚の育成を目指す取組
外国人の人権	○多文化共生社会の実現に向けて ～地域日本語教室の取組を通して～
障害のある人の人権	○人としての生き方についての考えを深め、よりよく生きる生徒を育てる道徳教育の創造
女性の人権	○哲学対話の手法やエッセンスを活かした人権感覚の涵養 ～男女差別・ジェンダー意識を中心に～ ○男女平等教育を目指した「いのちのおはなし」
高齢者の人権	○高齢者との関わりを通じた人権感覚の育成

3 参加者の意見など

- (1) 人権作文の発表では、子供というより一人の人間として何をどう考え、どう生きていこうと思っているのかハッとさせられました。子供たちが、身近な人権について真剣に考えた作文発表に、心を打たれました。
- (2) 人権感覚とはどのようなものであるかということについても、分科会の中で具体的な例を挙げて頂いた為、理解することができました。
- (3) 人権課題は多岐に渡るので、これからも学び続けたいです。
- (4) 今後も人権教育についての研修がありましたら参加したいです。